

環境憲章 日野環境チャレンジ2050 CHALLENGE! 1 CHALLENGE! 2 CHALLENGE! 3 CHALLENGE! 4
CHALLENGE! 5 > CHALLENGE! 6 主要パフォーマンスデータ 環境マネジメント マテリアルバランス

CHALLENGE! 6 生物多様性インパクト 最小化チャレンジ

TARGET

人と自然が共生する未来



近年、世界中の生物多様性は急速に失われており、たとえば野生動植物の絶滅スピードを例にとると、7分間で1種絶滅しているとも言われています(環境省HPより)。日野グループは、それら生物多様性から計り知れない「恩恵」を受け、同時に「影響」を与えつつ、事業を展開しています。

私たちの事業が生物多様性に与えるインパクトを極限まで低減し、人と自然が共生する未来づくりにチャレンジします。

未来へのインパクト低減：人をつくり、輪をつくる

次の世代につなげる

保全活動



生物多様性保全は現在に限った問題ではなく、長期的視点での取り組みが必要です。そのため、次世代を担う地域の子どもたちにも関心を持ってもらうべく、生物多様性教育や関連イベントを積極開催していきます。また、地域住民や行政、関連団体との対話や、連携、さらに周辺生物多様性関連活動への助成を進めることで、地域特性に合わせ、地域全体で取り組む体制構築を図っていきます。



地域のインパクト低減：生物多様性を守る

地球上のあらゆる

生物を守る



日野グループでは、各地域固有の特性に合わせ、希少動植物および在来動植物を保全し、生態系に影響を与える外来種の駆除をおこなうことで、地域固有の生物多様性を守ります。また地域特性を配慮したうえで植樹、ビオトープ造成などを積極的におこなうことで、それぞれの事業所周辺地域の生態系に連続性を持たせ、「生態系ネットワーク」の造成に貢献していきます。



環境憲章 日野環境チャレンジ2050 CHALLENGE! 1 CHALLENGE! 2 CHALLENGE! 3 CHALLENGE! 4
CHALLENGE! 5 > CHALLENGE! 6 主要パフォーマンスデータ 環境マネジメント マテリアルバランス

生物多様性への配慮

生物を守る

日野自動車は経団連「生物多様性宣言」に賛同しており、5カ年中期計画である『環境取り組みプラン』にも個別目標を掲げたうえで、2015年度には「生物多様性ガイドライン」を策定し、社内の取り組み方向性、具体的取り組み内容などを定め、展開しています。

今後は周辺生態系との「共生」を図りつつ、企業としても成長し続けるため、策定したガイドラインに基づき、生物多様性に配慮した各種取り組みを推進していきます。同時に課題でもある社員の取り組み認知度や意識の向上を図るため、従業員参加型の活動を積極的に取り入れていく予定です。

生物多様性取り組み指針

- 製品環境技術の更なる追及
- 地域水資源への配慮
- 地道な環境取り組み(CO₂削減、省資源など)推進による生物多様性への貢献
- 社会との連携・協力
- 積極的な情報開示

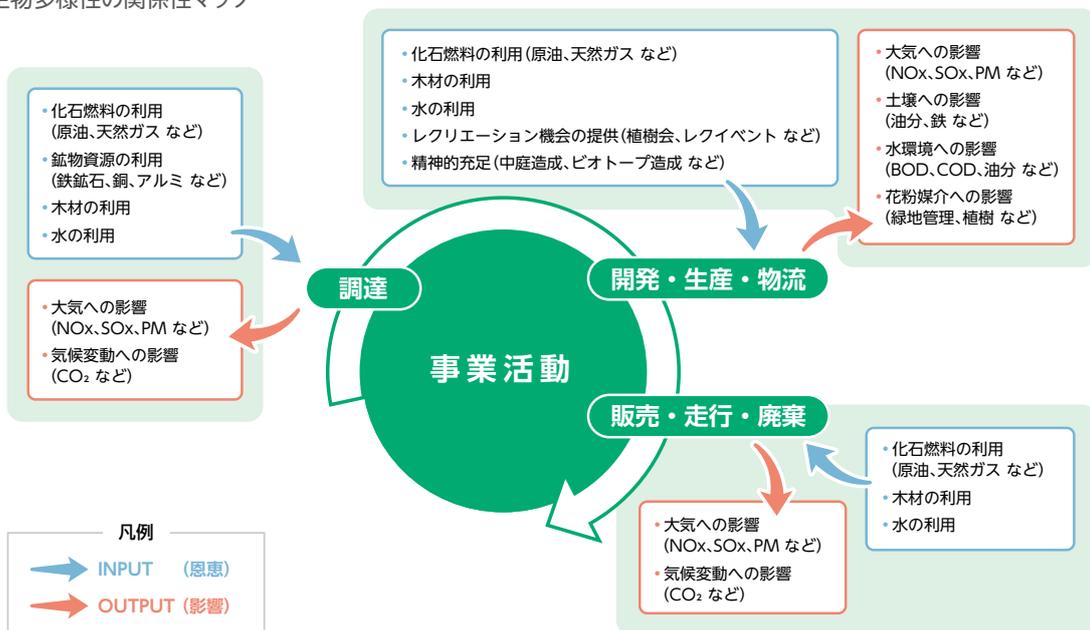
事業活動と生物多様性の関係整理

生物を守る

日野自動車は、『企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)』が定めた「企業と生物多様性の関係性マップ」(下図参照)を参考に、製品ライフサイクル各段階における「恩恵」と「影響」を整理しました。日野自動車は事業をおこなうなかで、製品ライフサイクル全体で自然の「恩恵」を受けており、また同時に「影響」を与えています。これらによる「生物多様性」への環境負荷を少しでも低減すること、周辺生態系を害さないことが、重要なポイントとなります。



● 企業と生物多様性の関係性マップ



環境憲章 日野環境チャレンジ2050 CHALLENGE! 1 CHALLENGE! 2 CHALLENGE! 3 CHALLENGE! 4
CHALLENGE! 5 > CHALLENGE! 6 主要パフォーマンスデータ 環境マネジメント マテリアルバランス

取り組み事例

生物を守る

◆生物多様性普及啓発、教育活動

本社・日野工場では、身近に住む生き物を知ってもらうため、日野市「カワセミハウス」にご協力いただき、地域に生息する鳥や爬虫類の剥製、昆虫や植物の種の標本などを展示した展示会を開催しました。

また、羽村工場では、羽村市環境保全課より講師を招き、生物多様性の意味から地域戦略、市内の貴重な生き物や取り組みなどについて紹介していただきました。

今後もこの活動を広めるべく、行政とも交流を図り、他事業所でも展開していきます。



展示会(日野工場)



羽村市の取り組みについての紹介(羽村工場)

◆地域の保全活動への参加

東京都が指定した保全地域に、「立川崖線」という古代多摩川の浸食によってできた崖の連なりがあり、青梅市から調布市まで全長約40kmも続いています。また、羽村工場が所在する羽村市に「立川崖線」の一部である「稻荷緑地」があります。

東京都に残された貴重な自然地を守るべく、羽村市管理のもと市民団体と協力し、多様な生物の生息空間としての貴重な緑を保全していく活動に取り組んでいます。



稻荷緑地での活動

◆近隣小学校に向けた環境学習教室の開催

古河工場では、周辺河川に直結しているビオトープ化した工場内調整池において、近隣の小学生と一緒に水生植物の植栽と生物調査を行いました。

2018年も多くの地域在来生物が確認され、豊かな生態系に囲まれていることを共有するとともに、今後も事業活動を続けていくなかで「周辺生態系への配慮を忘れてはならない」ことを再認識する場となりました。



調整池での調査

環境憲章 日野環境チャレンジ2050 CHALLENGE! 1 CHALLENGE! 2 CHALLENGE! 3 CHALLENGE! 4
CHALLENGE! 5 > CHALLENGE! 6 主要パフォーマンスデータ 環境マネジメント マテリアルバランス

環境教育

保全活動

日野自動車では、効果的な環境保全活動を進めるため、社員の環境意識向上を目指して、環境教育・啓発活動を推進しています。

環境活動は企業として取り組むだけでなく、社員一人ひとりが職場や家庭でも取り組むことが大切であると考え、環境問題全般や世界の動向と取り組み、自分たちがやるべきことなどについて、積極的に社員教育に盛り込んでいます。

具体的には、新入社員教育や管理職研修プログラムに環境教育を組み込んでおり、今後もより広範囲で体系的な環境教育を実施し、環境意識の継続的な啓発に努めていきます。



教育の様子

● 2018年度環境教育受講人数

(単位：名)

| | 事務・技術職 | 技能職 | 合計 |
|------|--------|-----|-----|
| 受講者数 | 151 | 457 | 608 |

◆ 事務所周辺の地域清掃活動

日野工場、羽村工場、新田工場など国内事業所のみならず、国内・海外グループ会社でも事業所周辺の清掃活動を実施し、環境意識や通勤マナー向上を図るとともに地域に貢献しています。



青梅部品センター



パキスタン

◆ ライトダウンキャンペーンに参加

全国で一斉に消灯するキャンペーン「ライトダウンキャンペーン」に2007年から参加しています。一斉消灯時(毎年キャンペーン事務局が設定)はもちろん、キャンペーン期間中は継続して主要事業所の看板照明などを消灯しています。このキャンペーンには、国内販売拠点をはじめ、多くのグループ会社も参加しています。



羽村工場正門の点灯時



夜間消灯時

環境憲章 日野環境チャレンジ2050 CHALLENGE! 1 CHALLENGE! 2 CHALLENGE! 3 CHALLENGE! 4
CHALLENGE! 5 > CHALLENGE! 6 主要パフォーマンスデータ 環境マネジメント マテリアルバランス

社外との環境コミュニケーション

保全活動

日野自動車はステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを重要視しています。お客様や地域の皆さまを含め、積極的に情報展開することで信頼される企業を目指します。

◆ 社外技術展での製品環境技術紹介

「自動車技術展・人とくるまのテクノロジー展2018：横浜・名古屋」に小型EV商用車プラットフォームの原寸モデルなど、最新の安全・環境技術をはじめ、先進技術、トータルサポートに関する日野の技術開発の取り組みを紹介しました。

来場者の皆さまとの情報交換、意見交換を通じて日野自動車に対する御理解を深めていただくとともに、日野自動車の技術者にとっては、皆さまからの期待を知る大変に貴重な機会となりました。



見学者でにぎわう出展ブース

◆ 地域環境イベントでの環境取り組み紹介

東京都羽村市で開催された「羽村市環境フェスティバル」、群馬県太田市で開催された「太田市産業環境フェスティバル」において日野自動車のさまざまな環境取り組みを紹介しました。工場周辺地域の環境イベントということもあり、地域の皆さまを中心に日野自動車の環境に関する考え方や実際の取り組みを広くPRすることができました。



「羽村市環境フェスティバル」の様子

◆ 近隣の小学校で出前授業

パキスタンでは、近隣の学校を訪問し、「Beat Plastic Pollution」と題し、地球環境問題について紹介しました。

また、アートクラフト作品を募集し展示会を開催し、身近な環境問題について学ぶ機会を提供しました。



近隣の小学校での環境教育

日野自動車グリーンファンド

日野自動車は、1991年に環境保全活動への助成をおこなう財団法人 日野自動車グリーンファンドを設立しました。財団は毎年15前後の団体に助成をおこなっています。その地道な活動が評価され、2005年度には環境大臣賞「環境保全功労者表彰」を受賞しました。また2011年4月1日をもって公益財団法人 日野自動車グリーンファンドになりました。今後も各種活動への助成・イベント実施等、地道ながら着実な活動を継続していきます。



「農業体験」(体験イベント)

 [公益財団法人 日野自動車グリーンファンドのページはこちら](#)